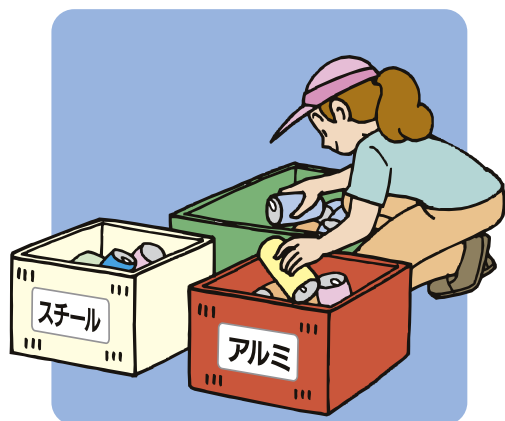




容器包装分別収集 事例集



平成19年6月



はじめに

リデュースをはじめとした容器包装廃棄物の3Rの推進、社会的費用の効率化、関係者の連携協働を基本的な方向として、平成18年6月に容器包装リサイクル法が改正され、「事業者に対する排出抑制を促進するための措置」や「事業者が市町村に資金を拠出する仕組みの創設」などが、新たな仕組みとして盛り込まれました。

このような中、各市町村にあっては、地域における容器包装廃棄物の排出抑制を促進するとともに、質の高い分別収集を推進するほか、容器包装廃棄物の処理の効率化に努めることが求められています。

これらを踏まえ、本事例集は、各市町村において、分別基準適合物の質的向上や、分別収集・選別保管業務の効率化を計画的に推進するに際して参考とすることを目的に、分別収集体制、分別収集実績、分別収集の質的向上や業務効率化などのポイント等を取りまとめたものです。

各市町村にあっては、市町村分別収集計画に従って行う分別収集業務の実施に当たり、本事例集を活用されることを期待します。

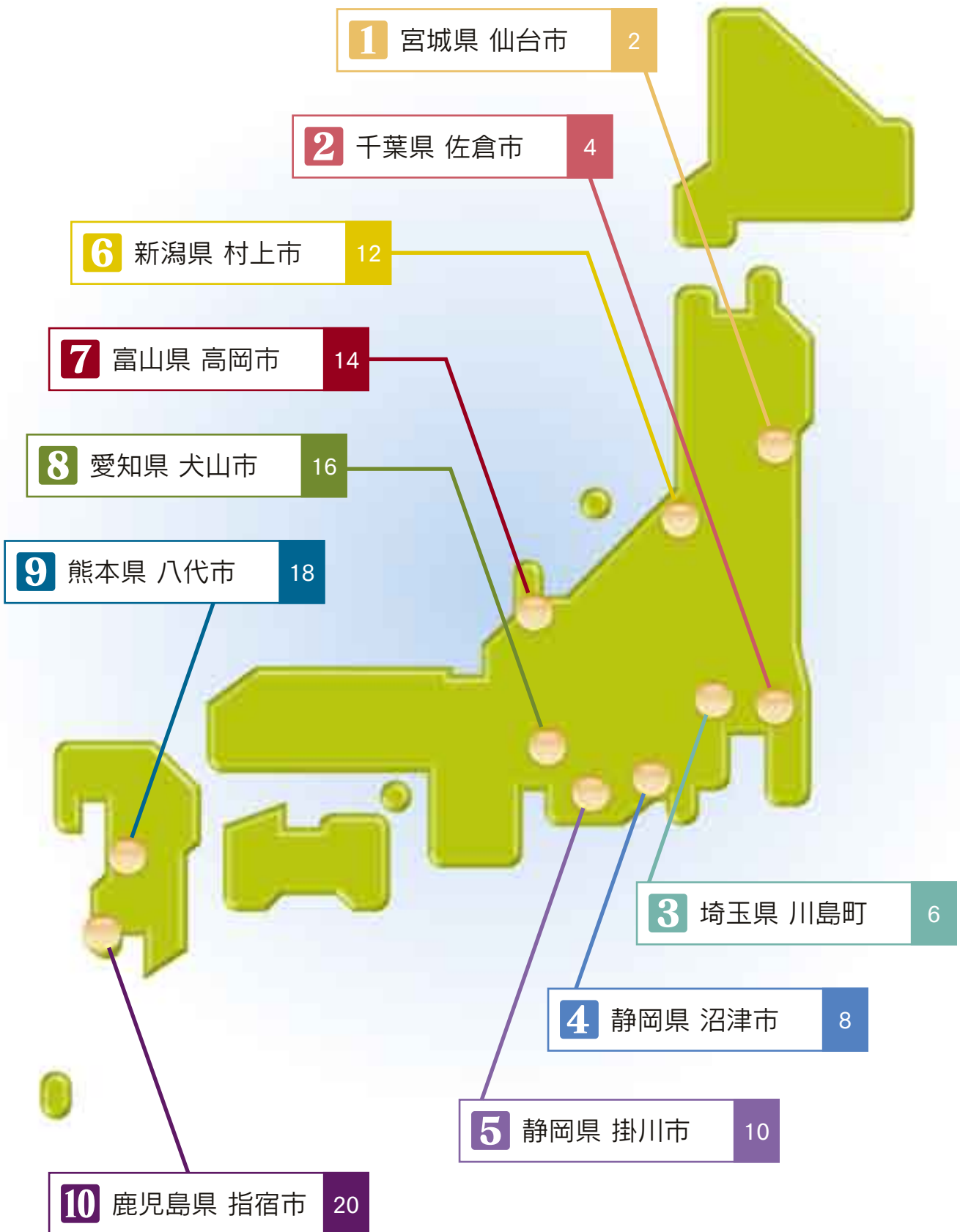
事例集の掲載内容について

本事例集に取り上げた市町村は、ペットボトルやプラスチック製容器包装に係る分別収集の質的向上の取組や、分別収集や選別保管等の効率化の取組を行っている市町村です。

なお、各事例に掲載している情報は以下のとおりです。

① 基本情報	自治体における人口、世帯数、面積及び人口密度
② 分別収集の体制	一般廃棄物の収集品目、分別基準適合物の処理ルート（指定法人又は独自処理）
③ 分別収集実績	平成17年度における容器包装廃棄物の品目別分別収集実績
④ 分別排出方法	ペットボトル、プラスチック製容器包装の分別排出方法
⑤ 品質向上の取組	ペットボトル、プラスチック製容器包装に係る分別収集の質的向上（分別基準適合物の品質向上）に効果的と考えられる取組
⑥ 業務効率化の取組	分別収集・選別保管の効率化に効果的と考えられる取組
⑦ 連絡先	自治体担当課と電話番号

事例一覽



自治体名	1 宮城県 仙台市	人口規模	100万人以上
基本情報	<p>■人口: 1,027,933人 ■世帯数: 444,522世帯(平成19年3月)</p> <p>■面積: 788.09km² ■人口密度: 1,304.3人/km²</p>		
分別収集の体制	<p>■一般廃棄物の収集品目(品目数:3)</p> <p>◇家庭ごみく週2回></p> <p>◇プラスチック製容器包装く週1回></p> <p>◇缶・びん・ペットボトル・廃乾電池類・蛍光管く週1回></p> <p>■分別基準適合物の処理ルート</p> <p>指定法人…無色びん、茶色びん、その他の色びん、ペットボトル、プラスチック製容器包装</p>		
分別収集実績(平成17年度)	<p>無色びん 3,606t 茶色びん 3,159t その他の色びん 1,806t</p> <p>ペットボトル 2,821t プラスチック製容器包装 13,044t</p>		
分別排出方法	<ul style="list-style-type: none"> ペットボトルは、収集日の前日に回収容器(コンテナ)をごみ集積所に配布し、市民はこのコンテナに排出する。コンテナは平ボディ車により回収する。 プラスチック製容器包装はプラスチック製容器包装の指定袋で排出する。パッカー車により回収する。 		
品質向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> 各種広報物、市政だより、キャンペーン、ホームページなどによる普及啓発活動の実施。 平成11年度から「100万人のごみ減量大作戦」を開始し、年ごとにテーマを決め、市民・事業者・行政一体となりごみ減量・リサイクルに取り組む機運作りを行っている。 平成14年にイメージキャラクター「ワケルくん」を登場させ、若者をターゲットとした広報活動を行った(右ページ参照)。若者だけでなく、子供からお年寄りまで幅広い年齢層に人気が出た。同時期に行ったプラスチック製容器包装分別収集の全市拡大効果もあり、ごみは大幅に減少し、リサイクル率が上昇した。 クリーン仙台推進員制度の実施。町内会等からの推薦に基づき、ごみ減量・リサイクルや環境美化推進のための地域のリーダーとして、市が委嘱しボランティアとして活動する制度。任期は2年。具体的な活動内容は、集積所等での分別・排出指導、学習会の開催、視察研修の実施、不法投棄巡視、排出実態調査などである。 缶・びん・ペットボトルを一括収集しているが、収集容器としてコンテナを使用している。袋収集では一般的にパッカー車による収集が多く、びんの破損や、びんだけでなく缶・ペットボトルの残渣率も大きくなる傾向にあるが、コンテナ収集では袋収集に比べて、残渣率も低く、品質も高い傾向にある。 びん(特に、小さい茶色びん)や、ペットボトルでは、キャップが付いたまま排出されるケースが多いため、キャップを除去するために選別施設に人員を配置した。 		
業務効率化の取組	<ul style="list-style-type: none"> 缶・びん・ペットボトルと、廃乾電池や水銀体温計、蛍光管を一括収集することにより、収集運搬における効率化を図っており、2tの平ボディ車で、高い車両積載率(30%程度)を確保している。 一方、選別については、大規模な施設において機械選別と手選別の併用で容器包装を分別しており、低コスト(容器包装の選別保管部分で30~40円/kg程度)を実現している。 		
連絡先	<p>仙台市 環境局 廃棄物事業部 リサイクル推進課、総務課 代表電話:022-261-1111</p>		

ワケルくん



←仙台市のごみ減量・リサイクル情報総合サイトのワケルネットに「ワケルくんの部屋」を設けている。この中では、「ワケル検定」「きちんとリサイクルできるかな?」等のコーナーがあり、情報提供とともに、市民参加型の構成となっている。



↑平成16年度前期キャンペーンワケルくんが「キッチンとフタははずしてますか?」と呼びかけを行い、飲料消費が増える夏にかけ、広く市民に缶・びん・ペットボトルのフタをはずす必要性を周知した。

イベント案内

容器包装等の分別方法

自治体名	千葉県 佐倉市	人口規模 10万人以上100万人以下
基本情報	■人口: 174,984人 ■世帯数: 66,133世帯(平成18年3月末) ■面積: 103.59km ² ■人口密度: 1,689.2人/km ²	
分別収集の体制	■一般廃棄物の収集品目(品目数:11) ◇可燃物<週3回> ◇不燃物<週1回> ◇資源物: 缶、びん、ペットボトル、プラスチック製容器包装、紙製容器包装、古紙類等、 廃食油、廃乾電池、廃蛍光灯<週2回> ■分別基準適合物の処理ルート 指定法人…ペットボトル、プラスチック製容器包装、紙製容器包装 独自処理…無色びん、茶色びん、その他の色びん	
分別収集実績(平成17年度)	無色びん 355t 茶色びん 275t その他の色びん 112t ペットボトル 270t プラスチック製容器包装 1,074t 紙製容器包装 664t	
分別排出方法	・ペットボトルは、市内の小売店の協力を得ながら拠点回収方式を採用している。 ・プラスチック製容器包装は、指定袋を使用したステーション収集方法としている。	
品質向上の取組	・ペットボトル拠点回収店にて、ペットボトルを回収している。ペットボトル拠点回収店では、管理者がいることなどから、 高品質の回収が実現 されている。また、 市民にとっても収集日に縛られることなく排出できるというメリット がある。ペットボトルの拠点回収店の確保にあたっては、粗大ごみ処理券の販売を委託するなど、 協力店のメリット も提供した。 ・平成13年度から、資源回収、簡易包装、ごみの減量化、再生品の利用促進、情報発信についての取組みがなされている店に対し、「 エコロジー推奨店 」として認定されるとプレートで表示することができる制度を立ち上げた。	
業務効率化の取組	・ペットボトルについては、 キャップやラベルを取り外すなど排出段階での分別が徹底 されているため、 委託費用が低減 されている。分別が徹底されたのは、普及啓発が奏功したものと考えている。 ・市報「こうほう佐倉」で年に数回、廃棄物・資源物に関する特集を組むなど、普及啓発を徹底している(右ページ参照) ・業者ごとの向上策としては、積載率の向上よりは 回転率の向上 を図っている。同じ曜日に2種類のごみを集める場合は、午前と午後に分けて収集しており、市民には朝8時30分以降はごみを出さないようお願いしている。	
連絡先	佐倉市 経済環境部 廃棄物対策課 代表電話:043-484-1111	

■ペットボトルの拠点回収例(市役所庁舎前)



↑ラベルやキャップは外されている。ボトル内の洗浄もなされており、見た目はほとんど透明。
 ↑回収ボックス
 ペットボトルのキャップ入れ。この工夫で市民は分別排出しやすくなる。キャップは、プラスチック製容器包装としてリサイクルされる。

■分別一覧表では、例示を用いて分別方法を分かりやすく示す



■市報(ごみ特集)



自治体名	埼玉県 川島町	人口規模	10万人未満
基本情報	■人口: 22,980人 ■世帯数: 7,381世帯(平成19年2月) ■面積: 41.72km ² ■人口密度: 550.8人/km ²		
分別収集の体制	■一般廃棄物の収集品目(品目数: 15) ◇可燃ごみ<週2回> ◇プラスチック製容器包装、紙製容器包装<週1回> ◇新聞紙、雑誌・雑紙、段ボール、紙パック、布類、缶、びん、ペットボトル、不燃ごみ、危険ごみ、有害ごみ、粗大ごみ<月2回> ■分別基準適合物の処理ルート 指定法人…無色びん、茶色びん、その他の色びん、ペットボトル、プラスチック製容器包装、紙製容器包装		
分別収集実績(平成17年度)	無色びん 29t 茶色びん 48t その他の色びん 10t ペットボトル 64t プラスチック製容器包装 182t 紙製容器包装 72t		
分別排出方法	<ul style="list-style-type: none"> ペットボトルは、ラベルをとり、キャップをはずし、中を軽く水洗いし、45リットル以下の透明の袋で出す。 プラスチック製容器包装は、ボトル・カップなどはキャップをはずし、中味を残さず、必ず水洗いをする。45リットル以下の透明の袋かレジ袋で出す。 		
品質向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> 川島町主催行事等で、ごみ箱を設置するだけでなく、水洗いできる道具を隣に設置し、ペットボトルやプラスチック製容器包装等の洗う必要があるものについて、洗って捨ててもらうように指導している。 平成14年度から町内の79地区を対象に、年間20回程度、容器包装ごみの分別説明会を開催している。説明会は、できるだけ多くの町民が参加できるようにするために、日曜日の午前中に開催している(1回当たりの出席者数: 70~80人程度)。 		
業務効率化の取組	<ul style="list-style-type: none"> 容器包装の収集日数を減らすことにより、収集効率の向上を図っている。可燃ごみは週2回であるが、プラスチック製容器包装及び紙製容器包装は週1回、びん、ペットボトルは月2回としている。 分別を徹底させたことにより、収集量が増える一方で、残渣量が減少し、選別コストの削減が図られた。現在、選別保管施設の能力は4t/日で、選別ラインの人数は5名である。 収集選別の委託費は、複数者の見積りから最も低価格であった事業者と随意契約を行っている。車両一台当たりの乗車人数は2人(運転手1人、助手1人)である。 		
連絡先	川島町 生活環境課 代表電話: 049-297-1811		

■ごみ分別体験コーナー用の分別BOX



←体育祭など町主催行事の開催時に設置されるごみ箱。イベント開催時には、ごみ箱だけでなく、水洗いができる道具・場所を用意して、町民がごみの分別を体験できるコーナーを設けている。

■広報でのごみ特集



←町では、日曜日に各行政区をまわって、ごみの分別説明会を行っている。紛らわしいごみの分別などについて、実物を見てもらいながら職員が説明する。「今まであいまいに出していたごみの分け方がわかったので実践します。」と、参加者に好評

■容器包装の分別一覧表

自治体名	4 静岡県 沼津市	人口規模 10万人以上100万人以下
基本情報	■人口: 210,120人 ■世帯数: 84,921世帯(平成19年3月末) ■面積: 187.10km ² ■人口密度: 1,123.5人/km ²	
分別収集の体制	■一般廃棄物の収集品目(品目数:13) ◇燃やすごみ<週2回> ◇資源化物: 缶、びん、金属類、古紙類、古布類、乾電池、ペットボトル、蛍光灯<月1回> ◇プラスチック製容器包装<週1回> ◇埋立てごみ: せともの・ガラス類、焼却粗大ごみ、熱源利用プラスチックごみ<月1回> ■分別基準適合物の処理ルート 指定法人…その他の色びん、ペットボトル、プラスチック製容器包装 独自処理…無色びん、茶色びん	
分別収集実績(平成17年度)	無色びん 648t 茶色びん 276t その他の色びん 334t ペットボトル 455t プラスチック製容器包装 5,487t	
分別排出方法	・ペットボトルは専用の収集袋で回収している。 ・プラスチック製容器包装は指定袋により回収している。	
品質向上の取組	・「リサイクルマスター」という、住民が色別に排出したびんを色別(無色、茶色、その他)に収集できる車両を導入している。 ・ペットボトルは専用の回収容器で回収しており、これは分別精度を高めることに寄与している。 ・ペットボトルについては、キャップとラベルを取り外すこと、容器内をすすぐことを市民に徹底している。分別が十分でない場合は回収せず、警告シールを貼る。このため、非回収廃棄物がステーションに残らないよう、市民が自主的にステーションを管理するようになっている。当番制にする、自治会や老人会、婦人会が対応するなど、具体的な管理方法は地区により様々である。	
業務効率化の取組	・プラスチック製容器包装という区分を設定する以前から、プラスチックを分別収集しており、容器包装として区分し収集するようになってからは、容器包装としてのプラスチックと、容器包装以外のプラスチックを収集している。容器包装以外のプラスチックは収集頻度を少なくし(具体的には、燃やすごみ 週2回、プラスチック製容器包装 週1回に対して月1回としている)、全体としてのコストを低減している。 ・ペットボトルについては、市民の協力によりキャップやラベルを取り外すことが徹底されているので、手選別ラインの担当者数が最低限(3人)で済んでいる。 ・集積所を使用する市民がステーションを管理している。具体的な運用については、自治会を中心に当番制で取り組んだり、老人会等に依頼したりして地域の状況に応じた展開となっている。 ・缶とペットボトルは、自立型の専用の収集袋により収集しており、自立型収集袋の収集にはクレーン車を使用している。 ・委託先との契約の度に、価格交渉を行っている。	
連絡先	沼津市 生活環境部 ごみ対策推進課 代表電話:055-934-4743	

■ペットボトルの収集・選別保管



(左) 収集袋 (折りたたんだ状態)
(右) 収集袋は前日に配布し、設置する。自立型で軽量のタイプ。



←ペットボトルを収集するクレーン付きトラック。



←収集後は、中継・中間処理施設において、圧縮・結束処理を行っている。(ペットボトルのペール)

■プラスチック製容器包装の出し方

簡単に汚れの落としとせるプラスチック製容器包装は、いままでどおり週1回の「プラスチック製容器包装」に出してください。

汚れの落としにくい調味料の小袋・チューブ、油よごれの強いレトルト(調理済み)食品の容器などは「燃やすごみ」に出してください。

■ペットボトルの出し方

ペットボトル

キャップとラベルは、「プラスチック製容器包装の日」に出してください。



プラスチック製容器包装は、リサイクルしますので、食品残渣を落としてから出してください。落とすことが困難なものは、「燃やすごみの日」に出してください。

自治体名	5 静岡県 掛川市	人口規模	10万人以上100万人以下
基本情報	■人 口:115,334人 ■世 帯 数:37,106世帯(平成19年1月末) ■面 積:265.63km ² ■人口密度:434.2人/km ²		
分別収集の体制	■一般廃棄物の収集品目(品目数:16)※掛川地区 ◇燃えるごみ(可燃)<週2回> ◇燃えないごみ(不燃)<月2回> ◇缶、無色びん、茶色びん、その他の色びん、ペットボトル、食用油<月1回> ◇プラスチック製容器包装、白色トレイ<週1回> ◇新聞、段ボール、紙パック、雑がみ<月1回> ◇乾電池・充電式電池、蛍光灯・体温計・温度計<月1回> *平成17年4月1日に、旧掛川市、旧大東町、旧大須賀町の1市2町が合併して、現在の掛川市となったことから、ごみの収集・処理に関しては、掛川区域と大東区域・大須賀区域の2区域に分けて行っている。 ■分別基準適合物の処理ルート 指定法人…その他の色びん、ペットボトル、プラスチック製容器包装 独自処理…無色びん、茶色びん		
分別収集実績(平成17年度)	無色びん 370t	茶色びん 300t	その他の色びん 172t
	ペットボトル 245t	プラスチック製容器包装 920t	(白色トレイを含む)
分別排出方法	・ペットボトル、プラスチック製容器包装は、それぞれ、集積所に置いてある専用のあみ袋に排出する。		
品質向上の取組	・各地区からクリーン推進員を選出してもらい(市域全域で約500名)、ボランティアとして収集場所においてごみの分別の徹底をしてもらっている。 ・「容器包装博物館」を整備し、低年齢の児童・生徒の分別排出の重要性に対する理解の促進を図っている(右ページ参照)。		
業務効率化の取組	・選別費用を削減するため、住民に分別排出の徹底を求めている。例えば、現状の処理能力の中で、長期にわたり安定してごみ処理することを目標として、ごみ減量大作戦という活動を行っている。312回のごみ減量大作戦地区説明会を開催するなどしてプラスチック製容器包装の汚れの許容度などの普及啓発を進めている。 ・委託費の削減のため、契約区分の一括化や、委託先選定に当たって登録業者による見積り合せを行うなどの工夫をしている。		
連絡先	掛川市 福祉生活部 環境保全課 代表電話:0537-21-1111		

■容器包装を通して環境問題を学習する「容器包装博物館」



↑「ごみになるようなものは手に入れない」「できる限りごみをささない」「出てきたごみは分別して資源物を回収し再利用する」という考え方を楽しく学び体験できる施設として、容器包装博物館をガス化溶融施設やリサイクルプラザ施設に併設している。

■容器包装の分別方法

↑缶、びん、ペットボトルは月1回回収される。びんは、無色、茶色、その他の色の3種に分別し、合計5分別で排出する。

←プラスチック製容器包装については、「対象となる主なもの」「出し方のルール」「対象外のもの」など詳細に排出方法を解説している。さらに、白色トレイは排出の際に専用のあみ袋に入れる旨を周知している。

←紙製容器包装は「雑がみ」の一種として排出する。

自治体名	新潟県 村上市	人口規模	10万人未満
基本情報	■人口: 30,458人 ■世帯数: 10,775世帯(平成19年2月) ■面積: 142.12km ² ■人口密度: 214.3人/km ²		
分別収集の体制	■一般廃棄物の収集品目(品目数: 14) ◇燃えるごみ<週2回、6~9月は週3回> ◇燃えないごみ<2ヶ月に1回> ◇新聞、牛乳パック、チラシ・本類、段ボール<月1回> ◇びん、アルミ缶、スチール缶、乾電池、ペットボトル<2ヶ月に1回> ◇発泡トレイ・発泡スチロール、プラスチック製容器包装<月2回> ◇アスベストごみ(自転車、エアコン、洗濯機、冷蔵庫は除く)<2ヶ月に1回> ■分別基準適合物の処理ルート 指定法人…プラスチック製容器包装 独自処理…びん、ペットボトル		
分別収集実績(平成17年度)	びん 200t ペットボトル 28t プラスチック製容器包装 237t		
分別排出方法	・ペットボトルは、キャップとラベルをはずし、かるく水ですすぎ、透明・半透明の袋又はレジ袋などに入れて出す。 ・プラスチック製容器包装は、識別表示マークがついているものを透明・半透明の袋又はレジ袋などに入れて出す。ただし、アルミが貼られていて銀色のものや汚れがひどいものは「燃えるごみ」、発泡トレイは「発泡トレイ・スチロール」として出す。		
品質向上の取組	・汚れのひどいプラスチック製容器包装は、回収してもえるごみとして処理する。混在している場合には、警告シールを貼り、回収はしない。 ・「環境フェスタ村上」を毎年開催しており、その中で「プラスチック製容器包装の分別チャレンジ」というコーナーを設け、来場者に、プラスチック製容器包装の分別体験をしてもらっている。 ・住民(町内会)からの要望に応じて、出前講座を実施している(年3回程度)。		
業務効率化の取組	・容器包装の収集日数を減らして、収集効率の向上を図った。具体的には、分別収集開始当初は、缶、びん、ペットボトルの収集日数は月1回であったが、収集効率を勘案し、現在は2ヶ月に1回としている。なお、逆に、プラスチック製容器包装は、月に2回収集している。車両積載率は、缶・びんが2t車 32.5%、4t車 26.3%、ペットボトルが4t車 16.3%、プラスチック製容器包装が2t車 27.5%、4t車 28.1%である。 ・容器包装の分別収集と同時に、ごみの有料化を導入したため、当初より、高い容器包装の分別収集率を実現することができた。 ・収集は、びん、ペットボトル、プラスチック製容器包装を一括委託しており、びん、ペットボトルの収益が得られるため、委託費は収集費分のみ(びん6.3円/kg、ペットボトル18.6円/kg、プラスチック製容器包装13.2円/kg:廃棄物会計基準に基づき試算)で、選別保管費用は無償となっている。なお、車両一台当たりの乗車人数は2人(運転手1人、助手1人)である。		
連絡先	村上市 市民生活課 代表電話:0254-53-2111		

■分別方法

品目	具体例	出し分け基準
ペットボトル	清涼飲料水、高糖・高カロリー、しょうゆ等の調味料	・キャップとラベルは「プラスチック製容器包装」に出してください。 ・なるべくすすぎてください。
発泡トレイ・スチロール	食器用トレイ、発泡スチロール製の容器包装	・プラスチック製容器包装として回収されるもの、押しつぶすと壊れるもの、紙、糊付のものも対象です。 ・キャップには取り、かるく水ですすぎ、汚れがひどいものは「燃えるごみ」に出してください。 ・汚れがひどいものは「燃えるごみ」に出してください。 ・臭い・汚れがひどいものは「燃えるごみ」に出してください。

プラスチック製容器包装

ごみマークが表示されているものを分別してください。ただし、アルミが貼られていて銀色のものは「燃えるごみ」に出してください。



注意

- ・汚れのひどいものは、お掃除してから出す。
- ・汚れのひどいものは、なるべくすすぎ、乾かしてから出す。
- ・汚れがひどいものは、「燃えるごみ」に出してください。
- ・臭い・汚れがひどいものは、お掃除してから出す。
- ・「リサイクル」マークが貼られていないものは、「燃えるごみ」に出してください。



■「環境フェスタ村上」



平成18年の参加団体数は18団体で、来場者数は約5,000人。

同年で6回目であり、毎年、来場者数が多くなっている。

【展示内容、PR内容の一例】

- オリジナルマイバッグ作成展示、マイバッグキャンペーン
- 容器包装のプラスチック、ペットボトル、発泡スチロール、缶等の資源化
- プラスチック製容器包装の分別チャレンジ等

プラスチック製容器包装として収集しないもの…

→「もえるごみ」の日に出してください。

- プラスチック製の商品(プラスチック製の容器や包装ではないもの)
バケツ、洗面器、じょうろ、衣装箱、カセットテープ、ビデオテープ、CD、テレホンカード、ハンガー、ストロー、スプーン、歯ブラシ、スポンジ、定規、キーホルダー、おもちゃ、ビデオ・CDなどのケース、クリーニング店の衣類カバー
- プラスチック製の容器や包装でもアルミが貼られ銀色のもの
- プラスチック製の容器や包装でも中身の汚れがひどいもの
マヨネーズ、ケチャップ、ねりわさび、からし、歯みがき粉などの容器



自治体名	7 富山県 高岡市	人口規模 10万人以上100万人以下
基本情報	■人 口:181,802人 ■世 帯 数:62,274世帯(平成18年12月末) ■面 積:209.38km ² ■人口密度:868.3人/km ²	
分別収集の体制	■一般廃棄物の収集品目(品目数:15) ◇燃やせるごみ(生ごみ等) <週2回> ◇資源化できるごみ:プラスチック製容器包装、缶・びん・ペットボトル、紙箱、包装紙、紙パック、段ボール、古紙類、再使用びん、金属類 <月2回> ◇資源化できないごみ:家具類、小型家電類、陶磁器類、高分子系ごみ、乾電池等有害ごみ(乾電池、蛍光灯、体温計、ライター) <月2回> ■分別基準適合物の処理ルート 指定法人…プラスチック製容器包装(全市) その他の色びん、ペットボトル、紙製容器包装(福岡地区) 独自処理…無色びん、茶色びん(全市) その他の色びん、ペットボトル、紙製容器包装(高岡地区) ※平成17年度までは全て指定法人。	
分別収集実績(平成17年度)	無色びん 76t 茶色びん 139t その他の色びん 9t ペットボトル 303t プラスチック製容器包装 1,029t 紙製容器包装 424t	
分別排出方法	・ペットボトルは、不燃物集積場にて、専用指定袋に入れ、缶・びんとともに3種混合収集を行っている。 ・プラスチック製容器包装は、不燃物集積場にて、専用指定袋に入れ、単独収集を行っている。	
品質向上の取組	・平成14年度の分別収集の開始当初に市職員が、各自治会の集積場に立ち、分別指導を行った(高岡地区3,446箇所、福岡地区489箇所)。 ・平成10年10月からの家庭系燃やせるごみの有料制導入、及び缶・びん・ペットボトルの指定袋による分別収集に際し、住民説明会を5ヶ月間で延べ483回開催した。また、平成14年度からのプラスチック製容器包装、紙箱、包装紙の分別収集に際し、平成12年度から6地区のモデル地区で試行するとともに、延べ642回の住民説明会を開催した。 ・自治会からの要請のある“ごみの出し方教室”において分別方法を説明している。 ・市民への周知事項は、広報誌「市民と市政」や自治会への回覧板で対応している。なお、希望のある自治会・町内には、分別方法説明指導案内用ビデオテープを貸し出している。 ・分別ルール違反の場合は、袋にシールを貼り、収集しないこととしている。	
業務効率化の取組	・住民による分別を細分化する(平成10年度から12分類、平成14年度から15分類に細分化)ことで、選別業務を効率化し、より一層の減量化・資源化を図った。 ・収集運搬作業等を直営から一部民間委託し、コストの削減を図った(収集運搬業務、粗大ごみ・資源ごみ(缶・びん・ペットボトル)の中間処理・運転管理業務、プラスチック製容器包装の中間処理業務、古紙類の運搬・処理業務)。	
連絡先	高岡市 生活環境部 環境サービス課 代表電話:0766-20-1111	

■分別方法



缶・びん・ペットボトル



プラスチック製容器包装



紙製容器包装



資源再生品

■ルール違反シール

ルール違反のごみについては、「ルール違反シール」を貼り、収集はしない。



■出前講座

ごみの出し方教室～ごみの分別とその出し方～

ごみを出すときのルール、分別方法、市の処理施設への持込方法等について自治会などからの要請によって「出前講座」を実施している。



←高岡市リサイクル運動シンボルマーク「しげんちゃん」

自治体名	8 愛知県 犬山市	人口規模	10万人未満
基本情報	■人口: 74,747人 ■世帯数: 27,211世帯(平成18年4月1日) ■面積: 74.97km ² ■人口密度: 997.0人/km ²		
分別収集の体制	■一般廃棄物の収集品目(品目数: 18) ◇可燃ごみ<週2回> ◇不燃ごみ、乾電池、蛍光灯、危険ごみ(スプレー缶類)<月2回> ◇無色びん、茶色びん、その他の色びん<月2回> ◇プラスチック製容器包装<月4回> ◇アルミ缶、スチール缶、ペットボトル、飲料用紙パック<月2回> ◇新聞紙、雑誌、段ボール、布類<年12回> ◇粗大ごみ(有料戸別収集)<月2回> ■分別基準適合物の処理ルート 指定法人…プラスチック製容器包装 独自処理…無色びん、茶色びん、その他の色びん、ペットボトル		
分別収集実績(平成17年度)	無色びん 280t 茶色びん 200t その他の色びん 76t ペットボトル 242t プラスチック製容器包装 605t		
分別排出方法	・プラスチック製容器包装は月4回、ペットボトルは月2回、町内指定箇所483箇所においてネット式ステーションバッグにて収集している。		
品質向上の取組	・各町内から選出されたクリーンキーパー(307名登録、平成17年度現在)が、自発的に収集場所の清掃や、分別指導を行い、住民に分別排出の徹底を求めている。また、年に1回、市主催のクリーンキーパー研修(都市美化センター等の見学等)を開催している。 ・市内の小学生(4年生)の環境学習にて、都市美化センターの見学や、市の職員が小学校に出向いて派遣講師となり、ごみの出し方や分別の学習(分別体験教室)を実施している。 ・ペットボトル、プラスチック製容器包装については、分別違反ごみへの警告シールの貼付による指導を行い、ルール違反のごみは収集しないようにしている。 ・収集業者から、収集したペットボトルやプラスチック製容器包装の質が悪いという話があった場合、実際に現場に見に行き、指導や回覧文書によって注意を促している。 ・上記の品質向上策によって、ペットボトルの品質は近隣の自治体の中で最も高いと業者から評価されている。なお、びんについても無色びん、茶色びん、その他の色びんの混在はなく、高評価を得ている。住民に分別排出の意識はかなり浸透している。		
業務効率化の取組	・犬山市は、収集範囲が広く、収集箇所(可燃ごみ1,098箇所、その他のごみ483箇所)も多い。また、地理的要因から、一方通行が多く、狭い道も多いので、小回りのきく、最大積重量2t程度のより小型の車両で効率的に収集し、分別収集費用の削減を図っている。なお、委託先の収集業者がルートを精査し、収集の効率化に努めている。 ・委託先の業者との契約の度に価格交渉を行い、コスト削減に努めている。価格交渉によって年々委託金額及び委託単価は低減している。		
連絡先	犬山市 環境部 環境課 代表電話: 0568-61-1800		

■ごみの分別の様子



←ごみの分別の様子
各町内から選出されたクリーンキーパーが、自発的に収集場所の清掃や、分別指導を行い、住民に分別排出の徹底を求めている。

■小学校でのごみの出し方体験教室



↑市内の小学4年生を対象に、ごみの出し方や分別の体験教室を実施している。

■資源物の分別方法



自治体名	📍熊本県 八代市		人口規模 10万人以上100万人以下	
基本情報	■人口: 138,169人 ■面積: 680.19km ²		■世帯数: 50,712世帯(平成19年1月末) ■人口密度: 203.1人/km ²	
分別収集の体制	■一般廃棄物の収集品目(品目数:21) ◇燃えるごみ<週2回> ◇資源物: 缶、無色びん、茶色びん、その他の色びん、生きびん、紙パック、金属製のフタ、有害危険物(電球、蛍光灯、乾電池、体温計等)、ガラス・陶磁器類、なべ・金物類、小型電気製品類(ラジオ、ドライヤー等)、中型ごみ(扇風機、掃除機、炊飯器等)、新聞・チラシ、段ボール、雑誌、布類、ペットボトル、プラスチック製容器包装、白色トレイ、紙製容器包装<月2回> ■分別基準適合物の処理ルート 指定法人…その他の色びん、プラスチック製容器包装、白色トレイ、紙製容器包装 独自処理…無色びん、茶色びん、ペットボトル			
分別収集実績(平成17年度)	無色びん 422t	茶色びん 476t	その他の色びん 104t	紙製容器包装 126t
分別排出方法	・ペットボトル、プラスチック製容器包装、白色トレイはネット袋にて収集している。			
品質向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> 資源物を20種類に細分化している。また、集積所(資源物395箇所)に町内の分別指導員が立ち、住人に分別排出への指導を行うことで、分別に関する普及啓発を強化し、分別排出の徹底に努めている。 分別収集用のコンテナは、収集業者が前日夕方までに配り、分別指導員が朝並べる。委託業者は毎回データを取り、季節ごとにコンテナ数を調整している。なお、コンテナによる分別は比較的容易であり、事前に手間がかかるものの、選別作業は非常に楽になる。 各家庭に分別収集に関する指導冊子を配布し、普及啓発を実施している。 洗っていない資源物は収集せず、各家庭に持ち帰ってもらうこととしている。 なお、プラスチック製容器包装のうち、洗浄が容易でないことから、フィルムの分別収集は行っていない。 			
業務効率化の取組	<ul style="list-style-type: none"> 収集運搬・選別保管ともに実質業務のみを業者に委託しており、車両や施設の管理・修繕等は八代市が実施している。長年経験を重ねた市職員が最適な管理・修繕の判断をすることで、必要のないコスト(まだ使用できる車両にもかかわらず、新規車両を購入する等)の削減に努めている。 資源物を20種類に細分化することで、選別作業にかかる費用の削減を図った。 			
連絡先	八代市 市民環境部 廃棄物対策課 八代市 市民環境部 清掃センター 代表電話:0965-33-4111			

■分別方法



■啓発事業



↑環境学習出前講座「環境ゼミナール」
環境行政に携わる市職員が直接出向き、地球環境問題をはじめ、生活に身近な環境や自然の状況について事例紹介等を行い、地球環境問題などについて考える機会を提供する。



↑環境フェスティバル
八代市本町アーケード街にて開催される(八代の環境を考える会主催)環境フェスティバルに参加し、地球環境問題やごみ問題に関するパネル展示などを行っている。

■市役所における率先行動



←機密文章の再生利用
八代市役所では、役所内で発生した機密文書を製紙会社に持ち込み、再生利用している。ペール化した後に持ち込んでいる。月1回で2~4t。1年半前から実施。

自治体名	鹿児島県 指宿市	人口規模	10万人未満
基本情報	<p>■人口: 46,124人 ■世帯数: 19,789世帯(平成19年1月)</p> <p>■面積: 149.01km² ■人口密度: 309.5人/km²</p> <p>※以下の情報は合併前の旧指宿市の実績である。</p>		
分別収集の体制	<p>■一般廃棄物の収集品目(品目数:16)</p> <p>◇燃えるごみ<週2回></p> <p>◇燃えないごみ<月1回></p> <p>◇粗大ごみ<年2回></p> <p>◇資源ごみ: アルミ缶、スチール缶、無色びん、茶色びん、その他の色びん、ペットボトル、プラスチック製容器包装、白色トレイ、発泡スチロール、紙パック、新聞チラシ、段ボール、その他の紙<月1回></p> <p>■分別基準適合物の処理ルート</p> <p>指定法人…無色びん、茶色びん、その他の色びん、プラスチック製容器包装</p> <p>独自処理…ペットボトル</p>		
分別収集実績(平成17年度)	<p>無色びん 87t 茶色びん 118t その他の色びん 25t</p> <p>ペットボトル 75t プラスチック製容器包装 217t</p> <p>(白色トレイを含む)</p>		
分別排出方法	<ul style="list-style-type: none"> ペットボトルは、キャップをとり、水洗いをして、資源ごみ収集所の専用ネット袋に出す。ラベルを剥がす必要はない。 プラスチック製容器包装は、汚れている場合、洗って出す。洗っていることが確認できるように、シャンプーや洗剤などは、本体とふた(ノズルなど)を、バラして出す。指定ごみ袋に名前を書いて出す。 		
品質向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> 月1回のステーション収集(379ヶ所)に加え、月1回の資源ごみ収集所収集(112ヶ所)、市役所車庫に常設収集場(年末年始5日間以外の7時~19時)、6小学校区での収集と、清掃センターでの常時資源ごみの持ち込み受付(無料)を実施している。 ステーション収集以外の、資源ごみ収集所や、常設収集場所には、立会人を配置しているため、高品質が確保できている。 「緊急ごみ減量化大作戦」を契機に、病院やホテルでも家庭と同じ分別区分でごみが排出されるようになっている。 		
業務効率化の取組	<ul style="list-style-type: none"> 常設収集場を設置し、資源ごみ収集頻度を少なく抑えることで、収集コストは大きく削減されている。車両積載率は、缶23%、びん・牛乳パック88%、ペットボトル13%、プラスチック製容器包装28%、発泡スチロール・白色トレイ4%である。車両一台当たり乗車人数は運転手1人。 また、立会人の配置等によって分別が徹底され、収集量が増えたため、容器包装の処理業務委託料は安くなり、選別後の再商品化物の売買価格は高くなっている。例えば、ペットボトルの処理業務委託料は、平成15年度60円/kgであったものが平成18年度35円/kgに低下しており、選別後の再商品化物の売買価格は、平成17年度10円/kgが平成19年度25円/kgとなり、今後さらに上昇する見込みである。 選別保管施設能力は50t/日(8時間)で、選別作業人員は、びん2人、ペットボトル3人、プラスチック製容器包装4人である。 		
連絡先	<p>指宿市 市民福祉部 生活環境課 代表電話:0993-22-2111</p>		

■ごみ分別の様子



↑市役所資源ごみ収集所
収集所にはシルバー人材が立会いをしており、出し方を教えてもらえるので、出しやすいと好評。

■「緊急ごみ減量化大作戦」

平成15年4月に、焼却炉の故障により1ヶ月間焼却ができなくなったことなどから、平成15年10月に「緊急ごみ減量化大作戦」と銘打った啓発活動や資源回収活動を展開し、1日のごみ排出量を1,680g/人(平成14年度)から960g/人(平成16年度)にまで落とすことに成功した。この水準は現在でも維持している。

■分別方法(資源ごみ)

■「家庭環境ISO」の取り組み

市民から参加者を募り、初級→中級→上級編と取り組んで頂く。初級編の1年が終了したら認定証を交付する。上級編を終了した家庭は「指宿市エコサポーター」と認定し、環境行政の市民監査役になってもらう。現在約300世帯が参加している。



【初級編】家庭環境ISO記録冊子(初級編)の45のチャレンジ項目から5項目以上を選び、チャレンジ宣言を行い、実践し、記録する。

【中級編】エコワットの使用や、家庭の電力量などを計る他、家庭から排出される燃えるごみ、燃えないごみを排出日ごとに、重さを計り、記録する。

【上級編】地球にやさしい暮らしを周りに広める行動目標を定める。また、中級編で算出した二酸化炭素排出量より、一年間の削減目標を定める。削減目標の項目は、電気、ガス、水道、ガソリン、軽油、灯油の6項目であるが、「買い物袋を持ち歩き、省包装の野菜などを選ぶ」ことで、一世帯で年間約58kgの二酸化炭素削減効果があることが紹介されている。



発行：環境省 大臣官房 廃棄物・リサイクル対策部 リサイクル推進室
連絡先：〒100-8975 東京都千代田区霞が関1-2-2
電話：03-3581-3351（代表） FAX：03-3593-8262

平成19年6月発行



この印刷物は、古紙配合率100%の再生紙と環境に優しい大豆インキを使用しています。